



東神吉っ子
・すすんで考える子
・心豊かな子
・強くたくましい子

特別号

令和8年10月9日
加古川市立東神吉小学校



令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果

6年生を対象に4月に実施しました全国学力・学習状況調査の結果が学校へ返却され、児童一人ひとりの個票につきましては、9月4日に返却しております。この学力調査の目的は、児童の学力（国語・算数）・学習状況を分析し、学校における教育課程の見直しや授業改善はもちろん、学校、家庭、地域が協働した児童の学力向上への取組の推進することにより、児童一人ひとりの学習意欲の向上と、学習内容の定着を図ることにあります。

つきましては、本校の結果及び概要をお知らせいたしますのでご確認ください。

学習について

○…成果がみられたところ ◇…課題がみられたところ

国語

○話の構成を考えたり、文章の特徴を捉えたりする力、基本的な漢字を正しく表記する力が身に付いていることが分かりました。特に、話の組み立てや文章の種類・特徴を捉えることについては、概ね良好な結果となっています。また、比喻や繰り返しなどの表現の工夫と、その効果を捉える力も身に付いています。

◇資料から必要な情報を選び出し、それらを整理した上で、自分の考えが相手に伝わるようにまとめて表現する力に課題が見られました。複数の情報を関連付けたり、目的に応じて必要な情報を見付けたりする場面で、今後さらに力を伸ばしていく必要があります。

【まとめ】

国語の学力結果と質問紙調査の結果を合わせると、授業では文章を読んで自分の考えをまとめたり、文章を引用して考えを伝えたりする学習に取り組んでいます。しかし、実際の学力調査では、複数の情報から必要な内容を選び、整理して、自分の考えを文章にまとめることに課題が見られました。このことから、学習への姿勢を生かしながら、「必要な情報を見付ける」「情報を整理する」「根拠を明らかにする」「自分の考えを文章で伝える」という一連の力をさらに伸ばしていくことが大切です。

今後は、単に文章を読んだり情報を集めたりするだけでなく、「必要な情報はどれか」「情報同士にはどのようなつながりがあるか」を考え、整理した情報をもとに自分の考えを分かりやすく表現する学習を大切にしていきます。

ご家庭でも、日頃の会話や読書の中で、「どうしてそう思ったの?」「その考えの理由は何?」「文章の中のどの部分からそう考えたの?」などと問いかけていただくことで、根拠をもって考え、自分の言葉で伝える力を育てることにつながります。

算数

○整数や小数の基本的な計算、数の仕組みを活用して条件に合う数を考える力が身に付いていることが分かりました。これまでに学習した内容を生かして、基本的な計算に取り組む力は、本校の強みの一つです。

◇図形の構成や割合・倍の関係を捉えたり、複数の情報を整理して問題を解決したりする場面では、さらに力を伸ばしていく必要があります。特に、二次元の表から必要な情報を見付け、複数の条件を整理して答えを求めることに課題が見られました。また、答えを求めるだけでなく、「なぜその式になるのか」「どのように考えたのか」を、式や言葉を使って説明する力にも課題があります。計算の結果だけでなく、考え方や根拠を相手に分かるように表現することが大切です。

【まとめ】

算数については、基本的な計算や数の仕組みを活用する力が強みとして見られました。質問紙調査でも、「算数の学習内容が分かる」「学習したことが将来役に立つ」と感じている児童が多く、学習に対する肯定的な意識がうかがえます。一方で、学力調査では、割合や倍の関係を捉えること、表から必要な情報を読み取ること、そして自分の考え方を式や言葉で説明することに課題が見られました。質問紙調査から、「どのように考えたのかを説明する活動」については、今後さらに充実させていく余地があると考えられます。

今後は、日常生活の場面と算数の学習を結び付けながら、**割合や倍の意味を具体的に捉えること、表や図から必要な情報を選んで整理すること、そして自分の考えを式や言葉で説明すること**を大切に学習を進めていきます。

ご家庭でも、「どうしてこの式になるの?」「どの数字に注目したの?」「別の方法でも解ける?」などと問いかけていただくことで、答えだけでなく、考え方を大切にする学習につながります。

生活について

【生活習慣に係るアンケート結果より】

今回の質問紙調査から、子どもたちは、学校生活や友達との関わりを大切にしながら、学習に前向きに取り組んでいる様子がうかがえます。朝食を毎日食べている児童が多く、将来の夢や目標をもっている児童、人の役に立つ人になりたいと考えている児童も多く見られました。また、友達との関係に満足していること、いじめを拒絶する規範意識の高さ、周りの人と協力して課題に取り組もうとする姿も見られ、安心して学校生活を送るための基盤が育っています。ただ、学級で人と違う意見を言いづらいと感じている点や、スマホ等の使用時間の長さ、休日の学習時間の短さ、読書時間の長さについては、引き続き改善に向けた取組を進める必要があります。

学習面では、分からないことがあったときに自分で学び方を考えたり、学習したことを振り返って次の学習につなげたりする姿が見られます。友達との話合いを通して自分の考えを深めたり、新しい考え方に気付いたりすることについても、前向きな回答が多く見られました。また、英語の学習が「得意」や「好き」という回答もたいへん多いです。一方で、国語や算数の学習を「得意」「好き」と感じられるよう、今後さらに自信を高める働きかけが大切だと考えています。

また、家庭での学習や生活習慣についても、学校での学びを支える重要な要素となります。学校と家庭がそれぞれの役割を大切にしながら、子どもたちが「分かった」「できた」という経験を積み重ね、自信をもって学習に取り組めるよう支えていきたいと考えています。

今後も学校では、子どもたちのよさを認めながら、自分で考え、友達と考えを交流し、学んだことを生かし、根拠をもって自分の考えを伝える学習を大切にしていきます。ご家庭でも、子どもたちが自分の考えを言葉で表現する機会を大切にいただき、「どうしてそう思ったの?」「どこからそう考えたの?」と問いかけることで、子どもたちの考える力や説明する力を一緒に育てていければと思います。